

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2023.11.20

No.059



Twitter

2023.11.17

八地申
第1号

団体交渉開催！

『誰もが鉄道の安全を創り出し、
安心して働くことの出来る職場を求める申し入れ』

その3

3. 沿線の倒木や倒竹等による輸送障害が後を絶たない。社員やお客さまの安全確保と安定した輸送サービス提供の為に、原因と再発防止策を具体的に示すこと。また、これまでも団体交渉等で繰り返し再発防止に向けた議論をしてきたが、同事象の発生を根絶できていない根本原因と実施している再発防止策の進捗状況を示すこと。

回答

沿線樹木の伐採については、調査、検査、巡回などにより近接木を抽出し、台帳に整理した上で、優先順位をつけて計画的に伐採を行い、安全確保に努めている。

議論経過

※特徴点を記載

労働組合

会社担当者

- 樹木の伐採基準は何か？
 - 「樹木会議」とは？
 - 伐採にあたっての優先順位は何か？ 線区やエリアで決まっているのか？
 - 草が壁のようになっている現場で異音の確認ができず、小移動してから対応している現実がある。異音が発生したその場で対応できない状況は問題だ。
 - 順次対応と言うが、業務に支障があると報告を受けても伐採順位は上がらないのか？
 - 予算が関係しているのか？
 - 沿線住民の苦情があれば即時対応しているケースもある。苦情は優先されているようだが、順位決めは適切とでも？
 - 樹木ではなく、草木の早期伐採は考えてもらいたい。
 - 乗務員からの報告でも伐採の優先順位は考えないのか？ 駅到着時の状態監視で車掌が身の危険を覚えるくらい草木が生い茂っている箇所もある。
 - 伐採に必要な関連会社や本体の要員は確保されているのか？
- 設備系職場合同で開催する、年1回の「樹木会議」を経て、標識等の視認性の観点から順次決める。
 - 伐採にあたり沿線住民への説明が必要な樹木等、話が大きくなる案件を議論している。
 - 輸送障害の恐れが高い樹木について、支社全体で順位を決めて伐採している。草程度の伐採なら本体直轄で施工している。
 - そうした現状の声を指令や区で報告してもらえれば、順次対応する。
 - **切りたいのはやまやま**だが、先に述べた要領で優先順位を付けている。
 - 赤字で予算が削減されたのは事実。だが**旅客や社員の安全確保に必要な予算は確保している。**
 - **…。そこは何を理由としたか判らない。**
 - やっていないわけではない。キチンと順位付けして対応する。全ての伐採を関連会社に委託するわけではない。
 - それを含めて伐採計画を立てている。**状況を共有してくれたら順次対応する。**
 - 施工は要員云々ではなく、予算で決めている。

ポイント

「回答」にある優先順位に現場の声がどこまで反映されているか不透明。むしろ現場と乖離しています。業務遂行上の安全確保には現場で声を上げ続けることが重要です！

つづく